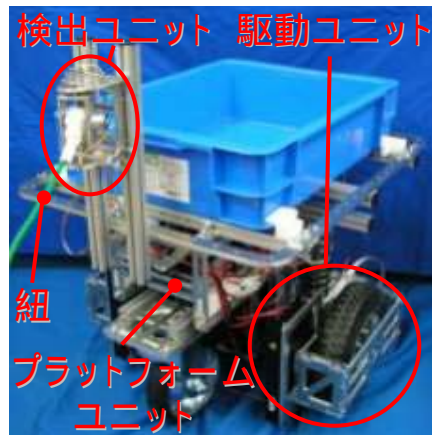
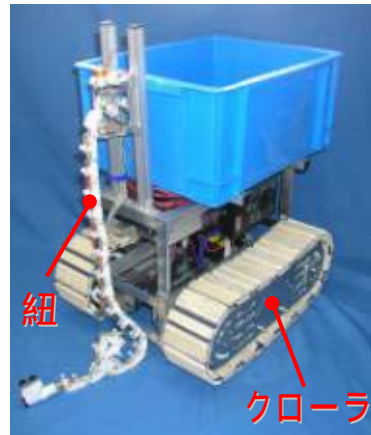


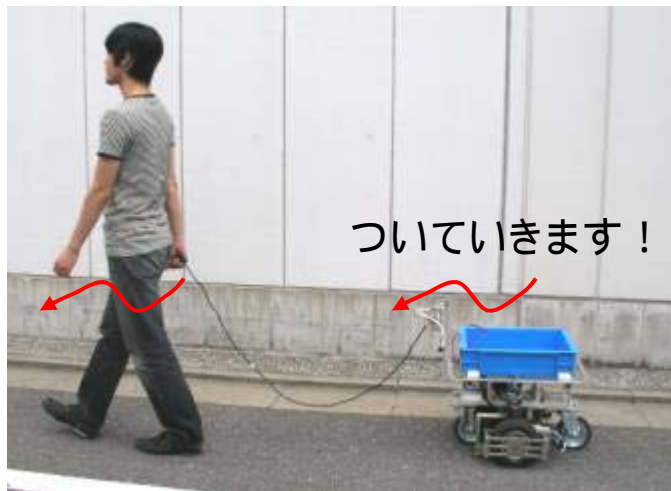
荷物運搬支援ビークル



ユニット型ビークル



不整地走行型ビークル



人の後ろをついてくるビークル

目的

買い物や旅行、農業の収穫作業における荷物の運搬を支援することを目指しています。

特長

ビークルから出ている紐を持って歩くと、紐が弛んだ状態でビークルが人の後ろをついていきます。ユニット型ビークルは検出ユニット、駆動ユニット、プラットフォームユニットの3つに分かれており、これらのユニットを既存の台車やスーツケースに取り付けて使用することもできます。不整地走行型ビークルは、クローラ機構の搭載により不整地での走行が可能となり、農業や林業などの現場でも使用できます。

技術

紐で人とビークルを繋いだ際に紐の根元にできる上下左右2つの角度を検出し、その角度に応じた信号をモータに出力するという極めて簡単な制御手法で人の後ろをついていくことを実現しています。

担当：総合機械工学科・三輪研究室
<http://www.miwa.mech.waseda.ac.jp/>
連絡先：info@miwa.mech.waseda.ac.jp

